



ルール・マナーの効果的な周知と啓発

学校などを通じた自転車安全教育、イベントや街頭での啓発活動を継続的に実施するとともに、ドライバーなど自転車利用者以外に対する啓発活動など、広報・教育活動等を通じて、幅広く、効果的に周知と啓発を図ります。

効果的な周知・啓発活動の推進

- ★ 学校を通じた継続的な自転車安全教育の実施
- ★ マナー推進地区の設定
- 歩行者が多い地区での押し歩きの推奨
- ★ 自転車利用者に対する交通ルールの周知
- ★ 自動車ドライバーに対する広報・啓発
- ★ ルール周知・マナー向上に関する販売店との協力

(★) 早期に進める施策 (●) 効果を確認しながら進める施策

● 実施例

● 学校を通じた継続的な自転車安全教育の実施



(札幌市内小学校)

● 自転車利用者に対する交通ルールの周知



(札幌市中央区)



施策の進め方

具体的な施策については、実施に向けて必要と考えられる期間や効果の発現時期などから、「早期に進める施策」と「効果を確認しながら進める施策」に区分します。

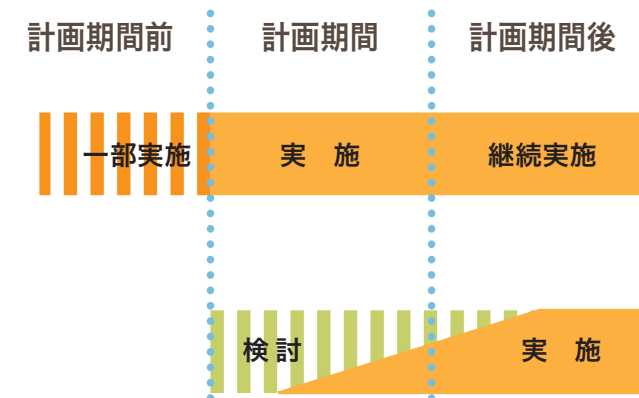
早期に進める施策 注1)

多大な費用を伴わず、用地確保が容易にできる場所など、地域及び関係機関との合意を経た上で、条件が揃えば早期に施策の実施ができると考えられる施策です。

効果を確認しながら進める施策 注2)

主として民間による整備を支援する制度設計や、施策実施に向けた課題解決や地域及び関係機関との合意形成などにある程度時間を要する施策です。

注1) 7ページから9ページの★印の施策が該当します 注2) 7ページから9ページの●印の施策が該当します

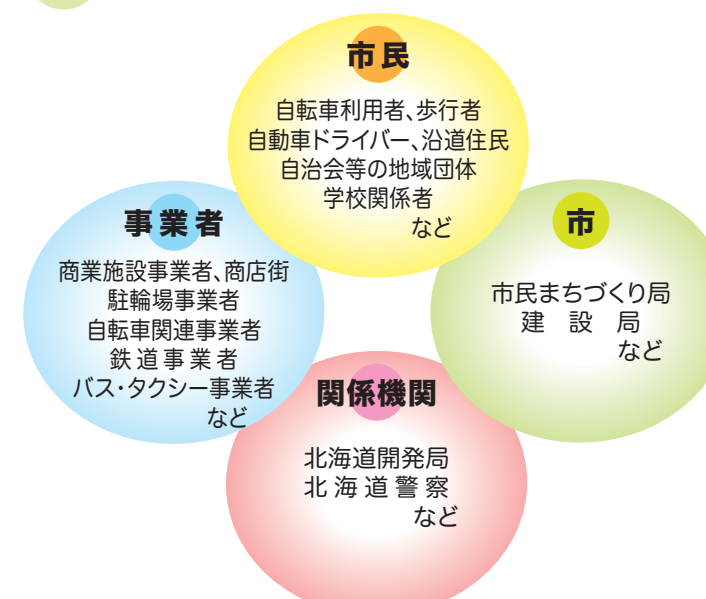


計画の推進に向けて

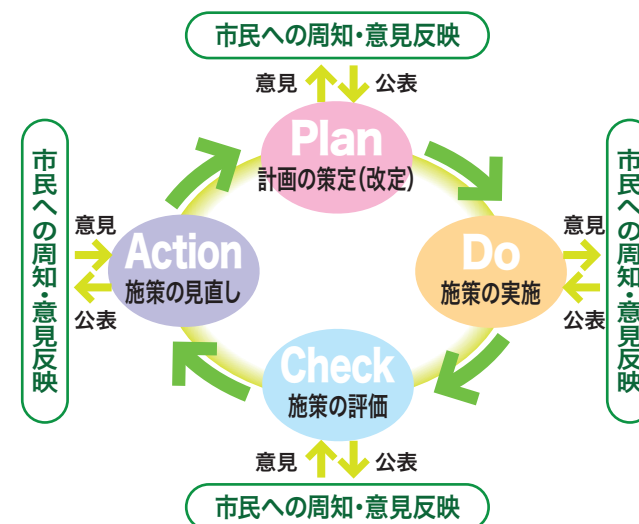
計画目標の達成に向けて、様々な立場の人々が、課題解消に向けた取り組みに関わり、市・関係機関・市民及び事業者が横断的で一体となったパートナーシップにより、施策を推進します。

計画を踏まえた実行計画(アクションプログラム)を策定するとともに、3~4年の期間で成果指標による評価を実施し、必要に応じて計画を見直し、計画の着実な推進を図ります。また、ホームページなどを通じて、各段階における施策の進捗状況について、毎年、市民に周知します。

計画の推進体制



今後の進め方のイメージ



目標 安全な自転車利用環境の実現による魅力的なまちづくり